

あなたの周りにもいるはず！意識高い系のすべて

意識高い系研究会

企画概要

意識高い系って面白い！あなたの身の回りにもいるであろう「意識高い系」。第一章には様々な種類の意識高い系の豊富な会話例を意識高い系用語の解説付きで収録。第二～四章では取材を通して意識高い系の生活や人生を探り、面白おかしく解説します。

企画者プロフィール

2009年に筑波大学付属駒場中学校に入学した私は、中学時代から鉄緑会という東大専門塾に行く同級生を見て、高校受験の勉強をしなくていいかわりに中学受験をしたのではなかったのか、そんなに先のことばかり考えて最後にはいったいどこへたどり着けるといのか、と反感を覚えました。そう、思えばあれが、当時はまだなかった、今でいうところの「意識高い系」との出会いだったのかもしれない。

中2ごろからは意識の高い人々との決別を図り意識低い系を自負し、同じく意識低い系のN氏と親しくなりました。受験生時代は意識高い系に負けるわけにはいかないという思いで勉強に励み、無事合格、2015年に東京大学文科一類に入学しました。


入学後、私は東大における「意識高い系」にうんざりし、意識高い系の人たちは文系でプログラミングもしないのにMacBook Airを選びすぎではないか、などと思っていました。ところが、なんと、意識低い系であったはずのN氏が国際交流・起業系の意識高い系団体BizJapanに吸い込まれてしまったのです。

意識低い系として孤独な戦いを強いられた私は、ドローン研究会などよくわからない意識低い活動を始めます。しかし、学術系の取材をするサークル「見聞伝ゼミナール」に所属していたり、最近はプログラミングを勉強し始めてIT・起業系の意識高い系と接近したりしていることから、実は自分も一介の意識高い系に過ぎないのではないかと思いつている部分もあります。ですが、やはり自分は意識低い系東大生であると声を大にして言いたいです。

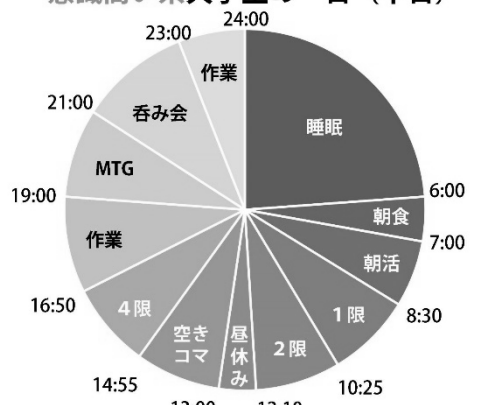
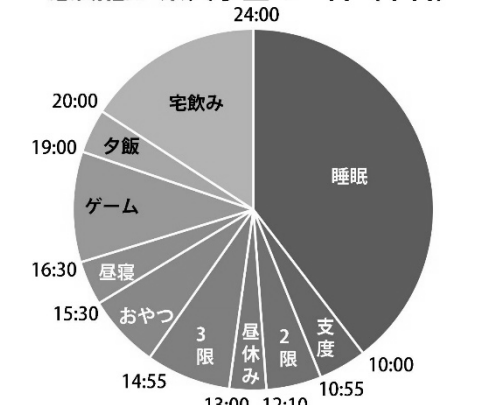


見本原稿

○第一章

<p>第一章 意識高い系の会話</p> <p><MTGにて></p> <p>A「本日のアジェンダは、団体の方針についてです。」</p> <p>B「A君のファシリ、期待してるよ〜。」</p> <p>A「ありがとう。やっぱりまずは明確なヴィジョンを持つことがマストかな。」</p> <p>B「そうね。」</p> <p>C「そのためにはミッションをはっきりさせなきゃ。」</p> <p>A「たしかに。僕たちのミッションは何？」</p> <p>B「次世代のグローバルリーダーを育成すること、かな」</p> <p>A「それ、いいね」</p> <p>C「だったらヴィジョンは、『多くのグローバルリーダーたちのプラットフォームとして国際社会にバリューをもたらすこと』、とか。」</p> <p>A「すばらしい！それで決まりだ！」</p> 	<p style="text-align: right;">国際交流編</p> <p style="text-align: center;"><意識高い系用語チェック！></p> <p>MTG【えむていーじー】 ミーティング、会議。しばしば必修の授業より優先される。（その割に内容は薄いことが多い）</p> <p>ファシリ 動詞「ファシる」の名詞形。ファシリテーション（→P.25）をする様や、その由来を示す。「はしり」ではない。</p> <p>アジェンダ テーマ、議題。新規企画のスタートアップ（→P.21）や、団体の方針の再考などが多い。</p> <p>ヴィジョン 団体や活動の将来的な目標、夢。たいていの場合ふわっとしているため、あってないようなものである。</p> <p>マスト ある物事が必ず必要であること。本当に必要かどうか、もう一度よく考えてみよう。</p> <p>ミッション 団体・活動が果たすべき役割。自分たちで考えているだけなのに、さも社会的責務であるかのように語られることがある。</p> <p>グローバル 国際。意識高い系の大好きな言葉。</p> <p>バリュー ①価値。意識高い系は、自分たちが社会に対してどのような価値を還元できるか考えがちである。 ②価値観→（P.33）</p>
---	--

○第二章

<p>第二章 意識高い系の生活</p> <h3 style="text-align: center;">意識高い系大学生の一日（平日）</h3>  <p>意識高い系の朝は早い。フルーツグラノーラとスムージーの朝食を済ませると、さやかに外へ出る。大好きな朝活（P.114）の時間だ。朝活が彼らを成長させてくれる。</p> <p>彼らは、自分で本を読めば済む授業（P.116）には出ない。1分1秒を大切に生きる彼らにとって、重要なのは授業に出ることではない、有意義な時間を過ごすことなのだ。</p> <p>放課後は待ちに待った団体MTG（P.118）。空き時間にまとめた資料の見せ場だ。渋谷のおしゃれなwifiカフェに向かう。</p> <p>MTGの後は忙しくとも呑み会（P.120）は欠かせない。円滑なチームビルディングのためには呑み会でのコミュニケーションが必要なのだ。決してただ飲みただけではない。チームビルディングだ。</p> <p>家に帰ったらMBAで作業（P.122）。終わり次第就寝。意識高い系の一日がまた始まる。</p>	<h3 style="text-align: center;">意識低い系大学生の一日（平日）</h3>  <p>意識低い系の朝は遅い。できればずっと寝ていたいくらいだ。面倒なので朝食は取らない。その割に家を出るまで時間がかかる。ここで二度寝しないよう気を付けよう。</p> <p>意識低い系は出ることのできない1限は履修しない。だからといって2限に間に合うわけではない。間に合う時間に起きていてもなぜか遅刻する。それが意識低い系だ。</p> <p>昼食後は3限という名の昼寝タイムだ。食べたら眠くなるのが自然の摂理なのだから仕方がない。小腹がすいたらおやつを食べる。4限？そんなものは知らない。</p> <p>放課後は友人とゲーム。夕食は体に悪いこってりラーメン。食生活など顧みない姿勢が濃い。</p> <p>帰ったら友人と宅飲み。いつの間にか寝落ちしている。明日から本気出す、という決意もむなく、いつもと同じ意識低い系の一日がまた始まる。</p>
---	---